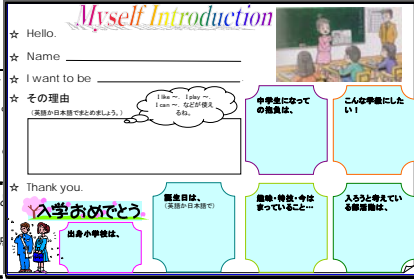


例⑥

中丹つないでシート：小学校外国語活動を生かした小・中接続指導計画（入門期）

作成：（小規模校 ← 2小学校から入学）

単元目標	小学校				春休みを効果的に活用する連携の在り方、児童への具体的支援等	中学校			
	第1時	第2時	第3時	第4時		入門期(Unit 1 に入る前)			
単元目標	自分の将来の夢について、理由を含めて紹介したり、友だちの夢を聞き取ったりする。				<p>〇抵抗感を減らす</p> <ul style="list-style-type: none"> ペンマンシップを春休みの課題に渡す。 ローマ字の復習をさせる。 外国語活動で楽しかったことなどを書かせる。 <p>★十分に小学校との連携をした上、児童の学習意欲の向上につながるような実施とする。</p> <p>★児童に負担をかけすぎること</p> <p>〇期待を持たせる</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介カードを渡す。（英語ノートのイラストと表現を使う） 	目	・外国語活動と英語の授業をスムーズにつなげるために、外国語活動で頑張ってきたことが、中学校の授業にどうつながるかを分かりやすく伝える。 ・中学校では「読むこと」「書くこと」にも力を入れることを教え、中学校の英語の授業のイメージを持たせる。		
本時の目標	様々な職業の言い方に興味をもち、職業の言い方に親しむ。	同世代の子どもたちも将来に夢を描いていることを知る。	将来つきたい職業について、尋ねたり答えたりする。	スピーチ・メモをもとに、理由を含めて自分の夢を紹介する。		導	<p>〇クラスルームイングリッシュとあいさつの練習</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単な英語での指示を行う。 		
導入	アルファベットカードゲーム（大文字）	アルファベットカードゲーム（小文字）	聞こえたアルファベットを線で結ぶ(P.6)	大文字と小文字を線で結ぶ(P.13)		入	<p>〇教師が英語であいさつと自己紹介をする</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語ノートの表現を使い、小学校での外国語活動で聞き取れることを感じさせる。 自己紹介の内容(好きなもの、好きなスポーツなど)について生徒に英語で尋ねる。 <p>〇自己紹介カードを使ったインタビュービンゴ</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前に提出させた自己紹介カードの情報を元に、ビンゴシートを作り、インタビュービンゴを行う。 		
展開	Let's Listen CDでどの人の自己紹介かを聞き分けよう(5人)	職業をクイズ形式で紹介する water, a house and a big red truck → ()	Let's play ビンゴ・ゲーム (巻末の職業カードを使って行う)	Activity2 友だちのスピーチを聞いて、夢、理由を聞き取る		展	<p>〇英語学習のガイダンスを聞き、振り返りを書く</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校の担任の先生から聞いた外国語活動の取組の様子を評価する。(手紙を書いてもらっていて、それを読んでもよい。) 中学校では、聞く・話すと読む・書くことを総合的に学習していくことを知る。 教師の話聞いて、小学校と中学校の違いを踏まえて、どのように頑張ればいいのかを各自でまとめる。 		
まとめ	1 自分が興味をもった職業は何か。(理由を付けて) またその言い方がわかったか。	1 同世代の子どもの夢を聞き自分と比べて気付いたことをまとめる。	1 インタビューをして気付いたことについて、次の型に添ってまとめる。	1 自分の夢を紹介して感じたことを何か。	ま	<p>・ 小学校の担任の先生から聞いた外国語活動の取組の様子を評価する。(手紙を書いてもらっていて、それを読んでもよい。)</p> <p>・ 中学校では、聞く・話すと読む・書くことを総合的に学習していくことを知る。</p> <p>・ 教師の話聞いて、小学校と中学校の違いを踏まえて、どのように頑張ればいいのかを各自でまとめる。</p>			
評価規準	自分が興味を持った職業の言い方に慣れ親しんでいる。③	世界の子どもの夢も自分たちと同じように将来に夢を描いていることに気付いている。①	将来つきたい職業について、尋ねたり答えたりしている。③	スピーチ・メモをもとに、理由を含めて自分の夢を紹介しよる。②	と	<p>・ 積極的に英語を聞いたり、使おうとすることができる ①</p> <p>・ 出てきた表現を使って英語を話そうしたり、書いたりすることができる ②</p> <p>・ 英語の指示や自己紹介などを聞いて、その内容を理解することができる ③</p>			
評価の観点	①言語や文化の体験的な理解 ②コミュニケーションを図ろうとする態度 ③音声や表現への慣れ親しみ				<p>★家庭とも連携し、課題を実施する。</p> <p>★学級活動で自己紹介をさせる場合に作成する「自己紹介カード」の要素も盛り込み、共通して活用する。</p>	観	①関心・意欲・態度 ②表現の能力 ③理解の能力 ④言語や文化の知識・理解		
主な語彙、表現	teacher, doctor, driver, singer, nurse, player, cook, fire fighter, astronaut, farmer, police officer, pilot, scientist, engineerなど What do you want to be? I want to be～. I like～.				語	Hello. Nice to meet you. I am-. I (don't) like-. You (don't) like-. Do you like-? I want to be- など			
小・中連携の視点で指導上大切にすること					小・中連携の視点で指導上大切にすること	<ul style="list-style-type: none"> 理解や定着に差があることを配慮し、定着していない生徒が自信をなくさないようにする。 外国語活動と授業としての英語とはつながっているが、まったく同じではないということを理解させる。 			
キーワード（連携を考えるときのキーワードです。焦点化するキーワードに色を付けましょう。）	音声や基本的な表現に慣れ親しむ	言語を用いてコミュニケーションを図ることの	言葉の面白さや豊かさに気付く	コミュニケーション能力	不安を取り除く	期待を持たせる	楽しい活動	リラックスした雰囲気	ともに学ぶ(ペア、グループ等学びの基盤づくり)
	言語や文化について体	コミュニケーションを図る	異なる文化をもつ人々との交流	多様なものの見方や考え方があることに気付く	抵抗感を減らす		音声による指導	発音と綴りの関係の指導	英語
	コミュニケーションを図	日本語との違いを知る	国語や我が国の文化についても併せて理解す				学習姿勢の構築(約束事)	家庭学習の習慣	
話し合いの中で気付いたこと	<p>★小学校と連携をして状況を把握をするが、注意することは、児童はその学習内容を体験しただけであるということである。</p> <p>「学習活動を体験した」＝「できる」</p>								



★小学校と連携をして状況を把握をするが、注意することは、児童はその学習内容を体験しただけであるということである。

「学習活動を体験した」＝「できる」